



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイト株式会社

コード番号 7421 URL <https://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田邊 公己

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 志村 葵 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,811	1.7	△350	ー	△294	ー	△421	ー
2022年3月期第1四半期	16,535	21.5	△1,093	ー	△1,041	ー	△176	ー

(注) 包括利益2023年3月期第1四半期 △411百万円(ー%) 2022年3月期第1四半期 △160百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△8.55	ー
2022年3月期第1四半期	△3.58	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	32,050	11,315	35.0	227.43
2022年3月期	31,648	11,727	36.8	235.80

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,220百万円 2022年3月期 11,633百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2023年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,752	11.2	1,987	ー	1,991	ー	1,395	89.6	28.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	49,414,578株	2022年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	77,597株	2022年3月期	77,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	49,336,981株	2022年3月期1Q	49,332,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みやワクチン接種が進み、感染者数の減少や行動制限の緩和に伴い経済活動が正常化へ向かいつつあったものの、国際情勢の緊迫化などにより依然として先行きが不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、まん延防止等重点措置が解除され通常の営業活動に戻りつつある一方、原材料・エネルギー価格及び物流費の高騰、急激な円安の進行など事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、コロナ禍においても安心してお食事をお楽しみいただける店舗づくりに取り組んでおります。直近で改装した店舗におきましては、自動案内システムやセルフレジ・ご自身のスマートフォンがタッチパネル替わりになる「スマホオーダー」を導入し、非接触化型のサービスを強化しており、今後も随時各店に導入を進めて行く予定です。店内の感染予防対策においては、従業員の健康管理、マスクや手袋着用の実施、アルコール消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保などを引き続き実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は168億11百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業損失は3億50百万円（前年同四半期は営業損失10億93百万円）、経常損失は2億94百万円（前年同四半期は経常損失10億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億21百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億76百万円）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、前期より取り組んでいる「うまい! かつば寿司」、「寿司屋品質」を実現し、より多くのお客様に楽しんでいただくために、「北海道大物産フェア」、「うまい天然ネタ祭り」、「どどん! と3貫盛り祭り」を開催し集客を図りました。また4月に「天然みなみ鮪大とろ」、5月にかつば寿司史上初、高級魚本鮪の超希少部位「カマトロ」の販売もしてまいりました。その他にも、日本国内で天然魚加工トップクラスの水産加工会社「玄天」とタッグを組んだ第2弾として「九州のあじ」を販売し、希少な天然魚を手軽に味わえる事で大変ご好評いただきました。名店レシピ企画の第3弾として、大阪・京橋の有名店「鮓 きずな」の店主が監修したレシピ4商品は、より寿司屋品質を表現する逸品となりました。

販売促進活動としては、「うまい!」を多くのお客様に体験してもらうため、アプリ会員向けの企画、Twitterキャンペーンなど、ニュースとなる企画の発信などを通じて集客に繋がる施策に取り組んでまいりました。

店舗オペレーションにおきましては、お客様により美味しいお寿司を提供するべく店内調理技術の強化に取り組んでおります。また、当第1四半期連結累計期間において、12店舗の店舗改装を行い、注文提供専用高速レーンの導入など最新設備を導入する事で、生産性向上に取り組んでおります。

売上原価においては、原材料価格・物流費の高騰の影響がありますが、メニューミックス施策などにより、原価率を崩さぬようにコントロールしております。

なお、賃貸契約終了により1店舗の閉店を行った結果、当第1四半期連結累計期間末で308店舗となりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は、133億31百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

#### <デリカ事業>

デリカ事業におきましては、中食需要の減少により売上高が前年同四半期比減少となりましたが、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大、既存顧客の販売強化によりコスト構造の見直しに取り組んでおります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は34億80百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間における総資産は320億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が7億49百万円増加、売掛金が3億27百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結累計期間における総負債は207億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億13百万円増加いたしました。これは主に、未払金及び長期未払金が6億62百万円増加、未払費用が52百万円増加、資産除去債務が23百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間における純資産は113億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億12百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失4億21百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,407	10,156
売掛金	3,031	2,703
商品及び製品	337	335
原材料及び貯蔵品	344	386
その他	1,565	1,153
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	14,685	14,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,794	26,780
機械装置及び運搬具	5,525	5,792
工具、器具及び備品	7,123	7,454
土地	1,645	1,645
リース資産	1,481	1,428
建設仮勘定	1	46
減価償却累計額	△31,555	△31,663
有形固定資産合計	11,015	11,484
無形固定資産		
無形固定資産	251	226
投資その他の資産		
投資有価証券	850	850
敷金及び保証金	4,001	3,939
繰延税金資産	607	608
その他	210	187
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	5,661	5,577
固定資産合計	16,928	17,287
繰延資産		
社債発行費	34	29
繰延資産合計	34	29
資産合計	31,648	32,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,851	2,794
1年内返済予定の長期借入金	980	980
1年内償還予定の社債	1,015	1,015
未払金	2,018	2,660
未払費用	1,501	1,554
リース債務	66	55
未払法人税等	182	45
賞与引当金	110	80
株主優待引当金	149	213
その他	614	931
流動負債合計	9,491	10,332
固定負債		
社債	1,170	1,170
長期借入金	5,550	5,550
長期未払金	1,998	2,019
リース債務	15	3
資産除去債務	1,544	1,521
その他	150	139
固定負債合計	10,429	10,403
負債合計	19,921	20,735
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	10,998	10,998
利益剰余金	650	229
自己株式	△71	△71
株主資本合計	11,678	11,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△3
繰延ヘッジ損益	△41	△32
その他の包括利益累計額合計	△44	△36
非支配株主持分	93	94
純資産合計	11,727	11,315
負債純資産合計	31,648	32,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	16,535	16,811
売上原価	8,466	8,220
売上総利益	8,069	8,591
販売費及び一般管理費	9,162	8,942
営業損失(△)	△1,093	△350
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	55	50
受取家賃	55	56
自動販売機収入	8	9
協賛金収入	1	1
助成金収入	—	24
雑収入	10	4
営業外収益合計	140	154
営業外費用		
支払利息	20	35
社債利息	7	4
貸貸収入原価	50	50
雑損失	9	6
営業外費用合計	88	97
経常損失(△)	△1,041	△294
特別利益		
固定資産売却益	219	—
助成金収入	908	—
特別利益合計	1,127	—
特別損失		
固定資産除却損	51	81
臨時休業等による損失	155	—
特別損失合計	207	81
税金等調整前四半期純損失(△)	△120	△375
法人税、住民税及び事業税	45	45
法人税等調整額	△6	△0
法人税等合計	39	44
四半期純損失(△)	△160	△420
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176	△421



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△160	△420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	—	8
その他の包括利益合計	△0	8
四半期包括利益	△160	△411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	△413
非支配株主に係る四半期包括利益	16	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。